

対象校No.

学校コード F144310111441

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部設置

注1

認可

別府大学 看護学部 看護学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人別府大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	看護学部事務室
職名・氏名	ジムチョウ ミツドメ タクヤ 事務長・満留 卓也
電話番号	0977-75-6118 (内線: 6014)
(夜間)	0977-75-6118 (内線:)
e-mail	kango@nm.beppu-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人別府大学

(2) 大 学 名

別府大学

(3) 調査対象大学等の位置

(〒874-8501)
(大分県別府市北石垣82)
〒874-0011
大分県別府市内竈1430番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニノミヤ シゲオ) 二宮 滋夫 (平成27年4月)		
学 長	(トモナガ ショク) 友永 植 (令和4年4月)		
学 部 長	(ムラナカ ヨウコ) 村中 陽子 (令和7年4月)		
学科長等	(ヒロタ マリ) 廣田 真里 (令和7年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止 について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	320 人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	—	1.03倍	1.03倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	184 (—) [—]	— (—) [—]	—			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	174 (—) [—]	— (—) [—]	—			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	132 (—) [—]	— (—) [—]	—			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	—			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.03	—	—			

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	83 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

数式が入力されています。

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

数式が入力されています。

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	記 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 に 対 し て
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養科目群	看護学部基盤ゼミ	基盤ゼミ導入演習	1前		1			4		1	5		
		基盤ゼミ発展演習	3前		1			2	2	1	5		
	小計(2科目)		-	-	2	0	0	6	2	1	6	0	0
	コア1 学際科目	大学史と別府大学	1前		1								7
		地域と世界農業遺産	1前			2							4
		グローバルと文化	1後			2							7
		キャリア教育Ⅰ	1前			2							1
		災害支援と防災対策	1通			2							1
		地域フィールドワーク演習	1通		1			6	1	3	4		1
		小計(6科目)	-	-	2	8	0	6	1	3	4	0	19
	コア2 人間と文化 の探求	哲学	1前			2							1
		文学	1後			2							1
		心理学Ⅰ	1前			2							1
		歴史学	1前			2							1
		生命倫理学	1後		2								1
		スポーツと健康	1後			2							1
		小計(6科目)	-	-	2	10	0	0	0	0	0	0	5
	コア3 現代社会の 多面的理解	経済学	1後			2							1
		地域福祉論	1後			2							1
		教育学	1後		2								1
		国際関係論	1後			2							1
		法学	1前			2							1
		マスコミ論	1後			2							1
		人権教育論	1前			2							1
		ボランティア活動論	1前			2							1
		法学(日本国憲法)	1前			2							1
		小計(9科目)	-	-	2	16	0	0	0	0	0	0	7
	コア4 科学と情報	論理学	1後		2								1
		生物学	1前			2							3
		数学基礎Ⅰ	1前			1							1
		アルゴリズムとプログラミング	1後			1							1
		統計学Ⅰ	1前		1								1
		数理・データサイエンス入門	1後		2								1
		データサイエンス基礎	1後			1							1
		データエンジニアリング基礎	2前			1							1
		AI基礎	2前			1							1
		情報リテラシー	1前			1							1
		小計(10科目)	-	-	6	7	0	0	0	0	0	0	8
	コア5 国際理解の ための言語	医療英語コミュニケーション	2前		1								1
		英語Ⅰ(A)	1前			1							1
		英語Ⅰ(M)	1前			1							1
		英語Ⅰ(B)	1前			1							2
		英語Ⅱ(A)	1後			1							1
		英語Ⅱ(M)	1後			1							1
		英語Ⅱ(B)	1後			1							2
		中国語基礎Ⅰ	1前			1							1
		中国語基礎Ⅱ	1後			1							1
		韓国語基礎Ⅰ	1前			1							1
		韓国語基礎Ⅱ	1後			1							1
		小計(11科目)	-	-	1	10	0	0	0	0	0	0	7

【令和7年度】

科目区分		授業科目の名称	記 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 に 対 し て
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養科目群	看護学部基盤ゼミ	基盤ゼミ導入演習	1前		1			3		1	5		
		基盤ゼミ発展演習	3前		1			2	2	1	5		
	小計(2科目)		-	-	2	0	0	5	2	1	6	0	0
	コア1 学際科目	大学史と別府大学	1前		1								7
		地域と世界農業遺産	1前			2							4
		グローバルと文化	1後			2							8
		キャリア教育Ⅰ	1後			2							1
		災害支援と防災対策	1通			2							1
		地域フィールドワーク演習	1通		1			5	1	3	4		1
		小計(6科目)	-	-	2	8	0	5	1	3	4	0	19
	コア2 人間と文化 の探求	哲学	1前			2							1
		文学	1後			2							1
		心理学Ⅰ	1後			2							1
		歴史学	1前			2							1
		生命倫理学	1後		2								1
		スポーツと健康	1後			2							1
		小計(6科目)	-	-	2	10	0	0	0	0	0	0	5
	コア3 現代社会の 多面的理解	経済学	1後			2							1
		地域福祉論	1後			2							1
		教育学	1後		2								1
		国際関係論	1後			2							1
		法学	1前			2							1
		マスコミ論	1後			2							1
		人権教育論	1前			2							1
		ボランティア活動論	1前			2							1
		法学(日本国憲法)	1前			2							1
		小計(9科目)	-	-	2	16	0	0	0	0	0	0	7
	コア4 科学と情報	論理学	1後		2								1
		生物学	1前			2							3
		数学基礎Ⅰ	1前			1							1
		アルゴリズムとプログラミング	1後			1							1
		統計学Ⅰ	1前		1								1
		数理・データサイエンス入門	1後		2								1
		データサイエンス基礎	1後			1							1
		データエンジニアリング基礎	2前			1							1
		AI基礎	2前			1							1
		情報リテラシー	1前			1							1
		小計(10科目)	-	-	6	7	0	0	0	0	0	0	7
	コア5 国際理解の ための言語	医療英語コミュニケーション	2前		1								1
		英語Ⅰ(A)	1前			1							1
		英語Ⅰ(M)	1前			1							1
		英語Ⅰ(B)	1前			1							2
		英語Ⅱ(A)	1後			1							1
		英語Ⅱ(M)	1後			1							1
		英語Ⅱ(B)	1後			1							2
		中国語基礎Ⅰ	1前			1							1
		中国語基礎Ⅱ	1後			1							1
		韓国語基礎Ⅰ	1前			1							1
		韓国語基礎Ⅱ	1後			1							1
		小計(11科目)	-	-	1	10	0	0	0	0	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	記号 年度	主要 授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員 （手外）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎分野	生物学の人間理解	生命科学	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅰ	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅱ	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅲ	1後	○	1		1					
		生体機能シミュレーション演習	1後	○	1		1					
		小計(5科目)	—	—	5	0	0	1	0	0	0	0
	疾病と回復過程の理解	病態・治療論	1前		1							2
		生命維持機能の障害と診断治療	1前		1							3
		運動機能の障害と診断治療	1前		1							7
		代謝機能の障害と診断治療	1後		1							4
		生殖機能の障害と診断治療	1後		1							2
		薬理学	1後		1							3
		臨床薬理学	2前		1							3
		放射線療法と人間の反応	2後		1							2
		心理学的支援法	2前		1							1
		リハビリテーションと人間の反応	2前		1							3
		健康と栄養	1後		1							1
		小計(11科目)	—	—	11	0	0	0	0	0	0	30
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生看護学概論	2前	○	2		1					1
		疫学	2後		2							1
		AI・データサイエンス実践	2後		2							1
		保健統計学	2後		2							1
		保健医療福祉行政論	2後	○	2			1				
		小計(5科目)	—	—	6	4	0	1	0	1	0	3
専門科目群	基礎看護学	看護学概論	1前	○	2		1					
		看護理論	1後	○	1		1	1				
		看護過程論	1後	○	1		1			1		
		看護コミュニケーション論	1前	○	1		2			1		
		ヘルスアセスメント	1後	○	1		3		1		2	
		基礎看護方法論Ⅰ	1後	○	2		2		1	1	2	
		基礎看護方法論Ⅱ	2前	○	1		2		1	1		
		基礎看護方法論Ⅲ	2前	○	1		1		1			
		家族看護論	2後	○	1		1			1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	○	1		2	1	2	5	2	
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	○	2		2		1	1	2	
		小計(11科目)	—	—	14	0	0	4	2	2	6	0
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	2前	○	1							
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	2前	○	2		1	1		1		
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	2後	○	2		1	1		1		
		地域・在宅看護シミュレーション演習	2後	○	1		1	1		1		
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	2後	○	1		1	1	1	2	2	
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	○	2		2	1	2	1	1	
		小計(6科目)	—	—	9	0	0	2	1	3	2	0
	成人看護学	成人看護学概論	2前	○	1			1				
		成人看護援助論Ⅰ	2前	○	2			2	1	1		
		成人看護援助論Ⅱ	2後	○	2			2	1	1		
		成人看護援助論Ⅲ	2後	○	1			2	1	1		
		成人看護シミュレーション演習	3前	○	1			2	1	1		
		成人看護学実習Ⅰ	3後	○	2			1	1			
		成人看護学実習Ⅱ	3後	○	2			1		1		
		小計(7科目)	—	—	11	0	0	0	2	1	1	0
	老年看護学	老年看護学概論	2前	○	1		1					
		老年看護援助論	2前	○	2		1		1	1		
		老年看護シミュレーション演習	2後	○	1		1		1	1		
		老年看護学実習	3後	○	2		1		1	1		
		小計(4科目)	—	—	6	0	0	1	0	1	1	0
	小児看護学	小児看護学概論	2前	○	1		1					
		小児看護援助論	2前	○	2		1			1		
		小児看護シミュレーション演習	2後	○	1		1			1		
		小児看護学実習	3後	○	2		1			1		
		小計(4科目)	—	—	6	0	0	1	0	0	1	0
	母性看護学	母性看護学概論	2後	○	1		1					
		母性看護援助論Ⅰ	3前	○	2		1			2		
		母性看護援助論Ⅱ	3前	○	1		1			2		
		母性看護シミュレーション演習	3前	○	1		1			2		
		母性看護学実習	3後	○	2		1			2		
		小計(5科目)	—	—	7	0	0	1	0	0	2	0

科目区分	授業科目の名称	記号 年度	主要 授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員 （手外）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎分野	生物学の人間理解	生命科学	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅰ	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅱ	1前	○	1		1					
		生体機能の調節Ⅲ	1後	○	1		1					
		生体機能シミュレーション演習	1後	○	1		1					
		小計(5科目)	—	—	5	0	0	1	0	0	0	0
	疾病と回復過程の理解	病態・治療論	1前		1							2
		生命維持機能の障害と診断治療	1前		1							4
		運動機能の障害と診断治療	1前		1							9
		代謝機能の障害と診断治療	1後		1							4
		生殖機能の障害と診断治療	1後		1							2
		薬理学	1後		1							3
		臨床薬理学	2前		1							3
		放射線療法と人間の反応	2後		1							2
		心理学的支援法	2前		1							1
		リハビリテーションと人間の反応	2前		1							3
		健康と栄養	1後		1							1
		小計(11科目)	—	—	11	0	0	0	0	0	0	32
	健康支援と社会保障制度	公衆衛生看護学概論	2前	○	2		1					1
		疫学	2後		2							1
		AI・データサイエンス実践	2後		2							1
		保健統計学	2後		2							1
		保健医療福祉行政論	2後	○	2			1				
		小計(5科目)	—	—	6	4	0	1	0	1	0	3
専門科目群	基礎看護学	看護学概論	1前	○	2		1					
		看護理論	1後	○	1		1	1				
		看護過程論	1後	○	1		1				1	
		看護コミュニケーション論	1前	○	1		2				1	
		ヘルスアセスメント	1後	○	1		3		1		2	
		基礎看護方法論Ⅰ	1後	○	2		2		1	1	2	
		基礎看護方法論Ⅱ	2前	○	1		2		1	1		
		基礎看護方法論Ⅲ	2前	○	1		1		1			
		家族看護論	2後	○	1		1			1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	○	1		2	1	2	5	2	
		基礎看護学実習Ⅱ	2前	○	2		2		1	1	2	
		小計(11科目)	—	—	14	0	0	4	2	2	6	0
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	2前	○	1							
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	2前	○	2		1	1		1		
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	2後	○	2		1	1		1		
		地域・在宅看護シミュレーション演習	2後	○	1		1	1		1		
		地域・在宅看護学実習Ⅰ	2後	○	1		1	1	1	2	2	
		地域・在宅看護学実習Ⅱ	3後	○	2		2	1	2	1	1	
		小計(6科目)	—	—	9	0	0	2	1	3	2	0
	成人看護学	成人看護学概論	2前	○	1			1				
		成人看護援助論Ⅰ	2前	○	2			2	1	1		
		成人看護援助論Ⅱ	2後	○	2			2	1	1		
		成人看護援助論Ⅲ	2後	○	1			2	1	1		
		成人看護シミュレーション演習	3前	○	1			2	1	1		
		成人看護学実習Ⅰ	3後	○	2			1	1			
		成人看護学実習Ⅱ	3後	○	2			1		1		
		小計(7科目)	—	—	11	0	0	0	2	1	1	0
	老年看護学	老年看護学概論	2前	○	1							
		老年看護援助論	2前	○	2				1	1		
		老年看護シミュレーション演習	2後	○	1				1	1		
		老年看護学実習	3後	○	2				1	1		
		小計(4科目)	—	—	6	0	0	0	0	1	1	0
	小児看護学	小児看護学概論	2前	○	1		1					
		小児看護援助論	2前	○	2		1				1	
		小児看護シミュレーション演習	2後	○	1		1				1	
		小児看護学実習	3後	○	2		1				1	
		小計(4科目)	—	—	6	0	0	1	0	0	1	0
	母性看護学	母性看護学概論	2後	○	1		1					
		母性看護援助論Ⅰ	3前	○	2		1				2	
		母性看護援助論Ⅱ	3前	○	1		1				2	
		母性看護シミュレーション演習	3前	○	1		1				2	
		母性看護学実習	3後	○	2		1				2	
		小計(5科目)	—	—	7	0	0	1	0	0	2	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						の 基 幹 教 員 数 （ 主 任 助 手 以 外）
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目群	精神看護学	精神看護学概論	2後	○	1		1							
		精神看護援助論	3前	○	2		1		1	1				
		精神看護シミュレーション演習	3前	○	1		1		1	1				
		精神看護学実習	3後	○	2		1		1	1				
		小計(4科目)	-	-	6	0	0	1	0	1	1	0	0	
	国際看護学	国際看護活動論	4後		1						1		1	
		海外研修	3・4休			1			1					
		小計(2科目)	-	-	1	1	0	0	1	0	1	0	1	
	看護の統合 と発展	看護管理論	3前			2		1					2	
		医療安全マネジメント論	2後	○	1		1						2	
		看護研究の基礎	3前	○	2		2	1						
		看護研究の実践	4通	○	2		10	3	6	2				
		がん看護	4後			1		1		1				
		クリティカルケア	4後			1							3	
		リエゾン精神看護	4後			1								
		災害看護	2後			1							2	
		災害支援チーム医療論	4通	○	1		1		4	7		3		
		看護総合シミュレーション演習	4前	○	1			1	4	6	2			
		看護マネジメント実習	4前	○	2		6	3	4	8				
		総合看護実習	4前	○	3		6	2	4	8	2			
		小計(12科目)	-	-	12	6	0	10	3	6	8	2	7	
	公衆衛生看護学	保健医療福祉行政活動論	3前	○		2				1				
		公衆衛生看護支援論Ⅰ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護支援論Ⅱ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	4前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅳ	4前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前	○		2		1						
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前	○		2				1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ		4前	○		3		1		2		1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ		4前	○		2		1		2		1			
		小計(12科目)	-	-	0	23	0	1	0	2	0	1	0	
合計(131科目)			-	-	109	85		10	3	6	8	2	79	
卒業要件及び履修方法														
【卒業要件及び履修方法】 教養科目群：27単位以上（必修科目：15単位、選択科目：10単位以上、「英語Ⅰ(A)」「英語Ⅰ(M)」」「英語Ⅰ(B)」のいずれか1単位、「英語Ⅱ(A)」「英語Ⅱ(M)」」「英語Ⅱ(B)」のいずれか1単位） 専門科目群：97単位以上（専門基礎分野：必修科目：22単位、専門分野：必修科目：72単位、国際看護学及び看護の統合と発展の選択科目：3単位以上） 合計：124単位以上														
【保健師国家試験受験資格を取得する者の履修方法】 卒業要件：124単位以上 専門科目群：25単位（専門基礎分野「疫学」：2単位、専門分野：公衆衛生看護学の全科目：23単位） 合計：149単位以上 （履修科目の登録上限：前期24単位、後期24単位、年間48単位）														

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					その他 教員等 の 助 手 等	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 科目 目 群	精神看護学	精神看護学概論	2後	○	1			1						
		精神看護援助論	3前	○	2			1		1	1			
		精神看護シミュレーション演習	3前	○	1			1		1	1			
		精神看護学実習	3後	○	2			1		1	1			
		小計(4科目)	-	-	6	0	0	1	0	1	1	0	0	
	国際看護学	国際看護活動論	4後		1						1		1	
		海外研修	3・4休			1			1					
		小計(2科目)	-	-	1	1	0	0	1	0	1	0	1	
	看護の統合 と発展	看護管理論	3前	○		2			1				2	
		医療安全マネジメント論	2後	○	1				1				2	
		看護研究の基礎	3前	○	2			2	1					
		看護研究の実践	4通	○	2			9	3	6	2			
		がん看護	4後	○		1			1		1			
		クリティカルケア	4後	○		1							3	
		リエゾン精神看護	4後	○		1		1						
		災害看護	2後	○		1							2	
		災害支援チーム医療論	4通	○	1			1		4	7		3	
		看護統合シミュレーション演習	4前	○	1				1	4	6	2		
		看護マネジメント実習	4前	○	2			5	3	4	8			
		総合看護実習	4前	○	3			5	2	4	8	2		
		小計(12科目)	-	-	12	6	0	9	3	6	8	2	7	
	公衆衛生看護学	保健医療福祉行政活動論	3前	○		2					1			
		公衆衛生看護支援論Ⅰ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護支援論Ⅱ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	3前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	4前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護活動展開論Ⅳ	4前	○		2		1		2				
		公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前	○		2		1						
		公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前	○		2				1				
公衆衛生看護学実習Ⅰ		4前	○		3		1		2		1			
公衆衛生看護学実習Ⅱ		4前	○		2		1		2		1			
		小計(12科目)	-	-	0	23	0	1	0	2	0	1	0	
合計(131科目)				-	-	109	85		9	3	6	8	2	80
卒業要件及び履修方法														
【卒業要件及び履修方法】 数養科目群:27単位以上 必修科目:15単位、選択科目:10単位以上、「英語Ⅰ(A)」「英語Ⅰ(M)」「英語Ⅰ(B)」のいずれか1単位、「英語Ⅱ(A)」「英語Ⅱ(M)」「英語Ⅱ(B)」のいずれか1単位 専門科目群:97単位以上(専門基礎分野 必修科目:22単位、専門分野 必修科目:72単位、国際看護学及び看護の統合と発展の選択科目:3単位以上) 合計:124単位以上 【保健師国家試験受験資格を取得する者の履修方法】 卒業要件:124単位以上 専門科目群:25単位(専門基礎分野「疫学」:2単位、専門分野 公衆衛生看護学の全科目:23単位) 合計:149単位以上 (履修科目の登録上限:前期24単位、後期24単位、年間48単位)														

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。**その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数」は、**認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数**は、**認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
- (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨床実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
- その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

・基幹教員(教授)の就任辞退のため、以下の科目の教員等の配置の変更。後任採用予定であり、令和7年5月のAC教員審査に申請予定。

「基盤ゼミ導入演習」：基幹教員等の配置「教授：4」から「教授：3」へ変更。

「地域フィールドワーク演習」：基幹教員等の配置「教授：6」から「教授：5」へ変更。

「老年看護学概論」：基幹教員の配置「教授：1」から「教授：0」へ変更。

「老年看護援助論」：基幹教員の配置「教授：1」から「教授：0」へ変更。

「老年看護シミュレーション演習」：基幹教員の配置「教授：1」から「教授：0」へ変更。

「老年看護学実習」：基幹教員の配置「教授：1」から「教授：0」へ変更。

「看護研究の実践」：基幹教員の配置「教授：10」から「教授：9」へ変更。

「看護マネジメント実習」：基幹教員の配置「教授：6」から「教授：5」へ変更。

「総合看護実習」：基幹教員の配置「教授：6」から「教授：5」へ変更。

・教育効果を高めるため、「キャリア教育1」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更。

・担当者の事情により、「心理学1」の配当年次を「1前」から「1後」へ変更。

・基幹教員以外の教員就任辞退のため、コア4科学と情報の小計欄の「基幹教員以外の教員：8」から「基幹教員以外の教員：7」へ変更

・基幹教員以外の教員就任辞退並びに教育効果を高めるため、「生命維持機能の障害と診断治療」「基幹教員以外の教員：3」から「基幹教員以外の教員：4」へ変更

・基幹教員以外の教員就任辞退並びに教育効果を高めるため、「運動機能の障害と診断治療」「基幹教員以外の教員：7」から「基幹教員以外の教員：9」へ変更

- (注)・ 2(1)-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
79 科目	52 科目	0 科目	131 科目	79 科目 [0]	52 科目 [0]	0 科目 [0]	131 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						「該当なし」
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{131} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	別府大学短期大学部（必要面積5,000㎡）と共用		
	校 舎 敷 地	5,483㎡	62,459㎡	22,628㎡	90,570㎡	【亀川キャンパス】 借用する既存校舎の敷地（専用） 借用面積1,871㎡ 借用期間20年		
	そ の 他	3,036㎡	10,473㎡	0㎡	13,509㎡	借用する新校舎用の敷地（専用） 借用面積924㎡ 借用期間21年2ヵ月		
	合 計	8,519㎡	72,932㎡	22,628㎡	104,079㎡			
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	別府大学短期大学部（必要面積4,600㎡）と共用 【亀川キャンパス】 借用する既存校舎の面積（専用） 借用面積3,299㎡ 借用期間20年		
		(29,376㎡)	(8,496㎡)	(14,302㎡)	(52,174㎡)			
(3)教室・教員研究室		教 室	303室	教員研究室	31室	教室は大学全体 教員研究室は看護学部の数		
(4)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標 本	大学全体での共用分 【石垣キャンパス】 図 書 371,009冊 369,066冊 【うち外国書】 39,797冊 39,714冊 電子図書 528冊 +++ 新規図書及び寄贈による 増（7） 【うち外国書】 0 学術雑誌 3,401種 【うち外国書】 255種 電子ジャーナル 4 【うち外国書】 4 【学術雑誌】 学術雑誌の計欄の数字に 誤記載があったため。 （7） 【機械・器具】 屋内工事・外構工事のうち、当初付帯設備として 管理予定の物を物品（器具）として管理すること となったため。（7）
		〔うち外国書〕冊	電子図書 〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕			
	看護学部	13,679 [50] (13,479 [50])	14 [0] (14 [0])	21 [5] (21 [5])	2 [2] (2 [2])	8,732 8,639 (7,356) -(7,305)	0 (0)	
	計	13,679 [50] (13,479 [50])	14 [0] (14 [0])	21 [5] 21 [5] -(2 [2])	2 [2] (2 [2])	8,732 8,639 (7,356) -(7,305)	0 (0)	
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講 堂		厚生補導施設		
		㎡		㎡		㎡		
(6)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	350千円	350千円	図書購入費	7,185千円	1,596千円	1,801千円
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	162,866千円	155,733千円	1,000千円
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		1,680千円	1,480千円	1,480千円	1,480千円	一 千 円	一 千 円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等、特定公益増進法人（学校法人）に対する寄付金、学園全体の資産運用収入等を充当する。					

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び
「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA・C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	別府大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考		
文学部	4	250	年次 人	1060	-	0.98	-	-	昭和25	-	令和7年度から入学定員変更(100→80)		
国際言語・文化学科	4	80	0	380	学士 (文学)	0.85	-	令和7	平成21	大分県別府市北石垣82番地			
史学・文化財学科	4	100	0	400	学士 (文学)	0.97	-	-	平成21	同上			
人間関係学学科	4	70	0	280	学士 (文学)	1.18	1.17	-	平成12	同上			
食物栄養科学部	4	110	0	484	-	0.79	-	-	平成18	-	令和7年度から入学定員変更(70→60)		
食物栄養学科	4	60	3年次 7	284	学士 (栄養学)	0.92	-	令和7	平成14	大分県別府市北石垣82番地			
発酵食品学科	4	50	0	200	学士 (食物バイオ 学)	0.61	-	-	平成21	同上			
国際経営学部	4	100	0	400	-	0.98	-	-	平成21	-	大分県別府市北石垣82番地		
国際経営学科	4	100	0	400	学士 (経営学)	0.98	-	-	平成21	同上			
看護学部	4	80	0	80	-	1.03	-	-	令和7	-	大分県別府市内電1430番地		
看護学科	4	80	0	80	学士 (看護学)	1.03	-	-	令和7	同上			
大学全体	4	540	3年次 7	2024	-	-	-	-	-	-			

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
別府大学短期大学部													
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
食物栄養科	年	人	年次人	人	短期大学士(栄養学)	0.84	倍	令和7	昭和29	大分県別府市北石垣2番地	令和7年度から入学定員変更(50→40)		
初等教育科	2	40	0	90			-	-	昭和37	同上			
短期大学部全体	2	240	0	490	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	村中 陽子 ＜令和7年4月＞ 博士（ソフトウェア情報学）
		基盤ゼミ導入演習 看護理論※ 看護過程論 看護コミュニケーション論※ ヘルスアセスメント 看護研究の基礎※ 看護研究の実践
基（主専）	教授	廣田 真里 ＜令和7年4月＞ 専修学校
		地域フィールドワーク演習 看護学概論 看護コミュニケーション論※ ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護管理論 医療安全マネジメント論 看護研究の実践 災害支援チーム医療論
基（主専）	教授	藤内 美保 ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 地域フィールドワーク演習 ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	村中 陽子 ＜令和7年4月＞ 博士（ソフトウェア情報学）
		基盤ゼミ導入演習 看護理論※ 看護過程論 看護コミュニケーション論※ ヘルスアセスメント 看護研究の基礎※ 看護研究の実践
基（主専）	教授	廣田 真里 ＜令和7年4月＞ 専修学校
		地域フィールドワーク演習 看護学概論 看護コミュニケーション論※ ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護管理論 医療安全マネジメント論 看護研究の実践 災害支援チーム医療論
基（主専）	教授	藤内 美保 ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 地域フィールドワーク演習 ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	鈴木 智子 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）
		家族看護論※ 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	松永 智子 ＜令和7年4月＞ 博士（健康福祉学）
		基盤ゼミ導入演習 地域フィールドワーク演習 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護シミュレーション演習 老年看護学実習 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	高野 政子 ＜令和9年4月＞ 博士（保健学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習 小児看護学実習 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	梅野 貴恵 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	鈴木 智子 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）
		家族看護論※ 地域・在宅看護学概論 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	
基（主専）	教授	高野 政子 ＜令和9年4月＞ 博士（保健学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習 小児看護学実習 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	梅野 貴恵 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 母性看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 看護研究の実践 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	上野 恭子 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		地域フィールドワーク演習 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 看護研究の基礎※ 看護研究の実践 リエゾン精神看護 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	赤星 琴美 ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		公衆衛生看護学概論 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基（主専）	教授	白石 裕士 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		基盤ゼミ導入演習 生命科学 生体機能の調節Ⅰ 生体機能の調節Ⅱ 生体機能の調節Ⅲ 生体機能シミュレーション演習 看護研究の実践
基（主専）	准教授	本松 美和子 ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	上野 恭子 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		地域フィールドワーク演習 精神看護学概論 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 看護研究の基礎※ 看護研究の実践 リエゾン精神看護 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	教授	赤星 琴美 ＜令和7年4月＞ 博士（看護学）
		公衆衛生看護学概論 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基（主専）	教授	白石 裕士 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		基盤ゼミ導入演習 生命科学 生体機能の調節Ⅰ 生体機能の調節Ⅱ 生体機能の調節Ⅲ 生体機能シミュレーション演習 看護研究の実践
基（主専）	准教授	本松 美和子 ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）
		基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	准教授	深野 久美 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ発展演習 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 がん看護 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	准教授	葛 玉栄 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		看護理論※ 成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅰ 海外研修 看護研究の基礎※ 看護研究の実践 看護マネジメント実習
基（主専）	講師	田中 佳子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		地域フィールドワーク演習 ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）		

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	准教授	深野 久美 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ発展演習 基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 がん看護 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	准教授	葛 玉栄 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		看護理論※ 成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅰ 海外研修 看護研究の基礎※ 看護研究の実践 看護マネジメント実習
基（主専）		
基（主専）	講師	野上 龍太郎 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		地域フィールドワーク演習 ヘルスアセスメント 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護方法論Ⅲ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	講師	青木 奈緒子 ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅰ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	野津 美香子 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		地域フィールドワーク演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 老年看護援助論 老年看護シミュレーション演習 老年看護学実習 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	栗林 好子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	榮田 絹代 ＜令和9年4月＞ 修士（看護学）
		地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	講師	青木 奈緒子 ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		成人看護援助論Ⅰ※ 成人看護援助論Ⅱ※ 成人看護援助論Ⅲ※ 成人看護シミュレーション演習 成人看護学実習Ⅰ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	野津 美香子 ＜令和8年4月＞ 博士（看護学）
		地域フィールドワーク演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 老年看護援助論 老年看護シミュレーション演習 老年看護学実習 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	栗林 好子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	講師	榮田 絹代 ＜令和9年4月＞ 博士（健康福祉学）
		地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	講師	高本 佳代子 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（アドミニストレーション学）
		保健医療福祉行政論 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 保健医療福祉行政活動論 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基（主専）	助教	岩崎 景子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 看護過程論 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	首藤 八千子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		基礎看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	講師	高本 佳代子 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（アドミニストレーション学）
		保健医療福祉行政論 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 保健医療福祉行政活動論 公衆衛生看護支援論Ⅰ 公衆衛生看護支援論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 公衆衛生看護活動展開論Ⅳ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ
基（主専）	助教	岩崎 景子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 看護過程論 基礎看護方法論Ⅰ 基礎看護方法論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	首藤 八千子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（看護学）
		基礎看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅰ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 地域・在宅看護シミュレーション演習 地域・在宅看護学実習Ⅰ 地域・在宅看護学実習Ⅱ 看護研究の実践 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	助教	原田 千恵子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習 小児看護学実習 国際看護活動論※ 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	野中 智恵 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 災害支援チーム医療論 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	渡邊 めぐみ ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	河野 修 ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 地域フィールドワーク演習 看護コミュニケーション論※ 家族看護論※ 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 災害支援チーム医療論 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	助教	原田 千恵子 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習 小児看護学実習 国際看護活動論※ 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	野中 智恵 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 災害支援チーム医療論 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	渡邊 めぐみ ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 基盤ゼミ発展演習 地域フィールドワーク演習 母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱ 母性看護シミュレーション演習 母性看護学実習 災害支援チーム医療論 看護統合シミュレーション演習 看護マネジメント実習 総合看護実習
基（主専）	助教	河野 修 ＜令和8年4月＞ 修士（看護学）
		基盤ゼミ導入演習 地域フィールドワーク演習 看護コミュニケーション論※ 家族看護論※ 精神看護援助論※ 精神看護シミュレーション演習 精神看護学実習 災害支援チーム医療論 看護マネジメント実習 総合看護実習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	友永 植 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		大学史と別府大学※
その他	教授	針谷 武志 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		大学史と別府大学※
その他	教授	宮崎 聖明 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※
その他	教授	飯坂 晃治 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※ グローバルと文化※ 歴史学
その他	教授	大坪 素秋 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		地域と世界農業遺産※
その他	教授	小池 楠男 ＜令和7年4月＞ 修士（学校教育学）
		キャリア教育Ⅰ
その他	教授	仙波 和代 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		災害支援と防災対策 生物学※
その他	教授	野村 文宏 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		哲学 生命倫理学 論理学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	友永 植 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		大学史と別府大学※
その他	教授	針谷 武志 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		大学史と別府大学※
その他	教授	宮崎 聖明 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※
その他	講師	飯坂 晃治 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※ グローバルと文化※ 歴史学
その他	教授	大坪 素秋 ＜令和7年4月＞ 理学博士
		地域と世界農業遺産※
その他	教授	小池 楠男 ＜令和7年4月＞ 修士（学校教育学）
		キャリア教育Ⅰ
その他	教授	仙波 和代 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		災害支援と防災対策 生物学※
その他	教授	野村 文宏 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		哲学 生命倫理学 論理学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	長尾 秀吉 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		地域福祉論 人権教育論
その他	教授	陶山 明子 ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学※
その他	教授	藤原 秀彦 ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学※
その他	教授	三重野 佳子 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		英語Ⅰ（B） 英語Ⅱ（B）
その他	教授	鈴木 晶 ＜令和7年4月＞ 博士（社会学）
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
その他	教授	樋園 和仁 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	教授	上野 淳也 ＜令和7年9月＞ 博士（文学）
		グローバルと文化※
その他	教授	梅木 美樹 ＜令和7年9月＞ 博士（学術）
		グローバルと文化※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	長尾 秀吉 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		地域福祉論 人権教育論
その他	教授	陶山 明子 ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学※
その他	教授	狩生 徹 ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学※
その他	教授	三重野 佳子 ＜令和7年4月＞ 文学修士※
		英語Ⅰ（B） 英語Ⅱ（B）
その他	教授	鈴木 晶 ＜令和7年4月＞ 博士（社会学）
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
その他	教授	樋園 和仁 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	教授	上野 淳也 ＜令和7年9月＞ 博士（文学）
		グローバルと文化※
その他	教授	梅木 美樹 ＜令和7年9月＞ 博士（学術）
		グローバルと文化※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	阿部 博光 ＜令和7年9月＞ 博士（学術）
		グローバルと文化※ 国際関係論
その他	教授	橋本 正志 ＜令和7年9月＞ 博士（文学）
		文学
その他	教授	木村 靖浩 ＜令和7年9月＞ 博士（栄養学）
		健康と栄養
その他	教授	西村 靖史 ＜令和8年4月＞ 獣医学博士
		データエンジニアリング基礎 A I 基礎 A I ・データサイエンス実践
その他	教授	矢島 潤平 ＜令和10年4月＞ 博士（心理学）
		災害支援チーム医療論
その他	教授	津田 克彦 ＜令和10年4月＞ 家政学士
		災害支援チーム医療論
その他	教授	後藤 善友 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		アルゴリズムとプログラミング 数理・データサイエンス入門 データサイエンス基礎 情報リテラシー
その他	教授	落合 弘 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		法律学 法学（日本国憲法）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	阿部 博光 ＜令和7年9月＞ 博士（学術）
		グローバルと文化※ 国際関係論
その他	教授	橋本 正志 ＜令和7年9月＞ 博士（文学）
		文学
その他	教授	木村 靖浩 ＜令和7年9月＞ 博士（栄養学）
		健康と栄養
その他	教授	矢島 潤平 ＜令和10年4月＞ 博士（心理学）
		災害支援チーム医療論
その他	教授	津田 克彦 ＜令和10年4月＞ 家政学士
		災害支援チーム医療論
その他	教授	後藤 善友 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		アルゴリズムとプログラミング 数理・データサイエンス入門 データサイエンス基礎 データエンジニアリング基礎 A I 基礎 情報リテラシー A I ・データサイエンス実践

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	檜崎 信浩 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		数学基礎 I
その他	准教授	河合 研一 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		地域と世界農業遺産※ 経済学 統計学 I
その他	准教授	O'CONNOR Tomás ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		英語 I（A） 英語 II（A）
その他	准教授	田邊 正行 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		英語 I（B） 英語 II（B）
その他	准教授	南 喜玄 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		グローバルと文化※ 韓国語基礎 I 韓国語基礎 II
その他	准教授	金城 國夫 ＜令和7年9月＞ 修士（言語学）
		グローバルと文化※
その他	准教授	中村 弘幸 ＜令和8年9月＞ 修士（環境共生学）
		保健統計学
その他	准教授	日和 恭世 ＜令和10年4月＞ 修士（社会福祉学）※
		災害支援チーム医療論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	田代 正彦 ＜令和7年4月＞ 修士（法学）
		法律学 法学（日本国憲法）
その他	教授	檜崎 信浩 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		数学基礎 I
その他	准教授	河合 研一 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		地域と世界農業遺産※ 経済学 統計学 I
その他	准教授	O'CONNOR Tomás ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		英語 I（A） 英語 II（A）
その他	准教授	田邊 正行 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		英語 I（B） 英語 II（B）
その他	准教授	南 喜玄 ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		グローバルと文化※ 韓国語基礎 I 韓国語基礎 II
その他	准教授	金城 國夫 ＜令和7年9月＞ 修士（言語学）
		グローバルと文化※
その他	准教授	中村 弘幸 ＜令和8年9月＞ 修士（環境共生学）
		保健統計学
その他	准教授	日和 恭世 ＜令和10年4月＞ 修士（社会福祉学）※
		災害支援チーム医療論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 聡 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※
その他	講師	赤松 秀亮 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		地域と世界農業遺産※
その他	講師	齋藤 圭 ＜令和7年4月＞ 博士（地理学）
		地域と世界農業遺産※
その他	講師	小野 貴史 ＜令和7年9月＞ 学士（文学）
		グローバルと文化※
その他	助教	佐々木 龍平 ＜令和7年9月＞ 修士（教育学）
		教育学
その他	講師	八幡 雅彦 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		大学史と別府大学※
その他	講師	山本 晴樹 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		大学史と別府大学※
その他	講師	疋田 愛生 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		心理学Ⅰ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 聡 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大学史と別府大学※
その他	准教授	赤松 秀亮 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		地域と世界農業遺産※
その他	講師	齋藤 圭 ＜令和7年4月＞ 博士（地理学）
		地域と世界農業遺産※ グローバルと文化※
その他	講師	小野 貴史 ＜令和7年9月＞ 学士（文学）
		グローバルと文化※
その他	助教	佐々木 龍平 ＜令和7年9月＞ 修士（教育学）
		教育学
その他	講師	八幡 雅彦 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		大学史と別府大学※
その他	講師	山本 晴樹 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		大学史と別府大学※
その他	講師	植山 雄貴 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		心理学Ⅰ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	後藤 由紀夫 ＜令和7年4月＞ 学士（臨床福祉学）
		ボランティア活動論
その他	講師	篠崎 モニカ ＜令和7年4月＞ Master of Arts (Teaching English as a Foreign/Second Language) (英国)
		英語Ⅰ（M） 英語Ⅱ（M）
その他	講師	岩尾 保次 ＜令和7年9月＞ 文学士
		マスコミ論
その他	講師	長野 カ ＜令和7年9月＞ 修士（教育学）
		スポーツと健康
その他	講師	伊藤 秀海 ＜令和8年4月＞ 修士（文学）
		心理学的支援法
その他	講師	Gerald Thomas Shirley ＜令和8年4月＞ Master of Education Curriculum, Instruction and Technology in Education (米国)
		医療英語コミュニケーション
その他	講師	桑野 紀子 ＜令和10年9月＞ 博士（看護学）
		国際看護活動論※
その他	講師	矢野 篤次郎 ＜令和7年4月＞ 医学博士
		病態・治療論※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	後藤 由紀夫 ＜令和7年4月＞ 学士（臨床福祉学）
		ボランティア活動論
その他	講師	篠崎 モニカ ＜令和7年4月＞ Master of Arts (Teaching English as a Foreign/Second Language) (英国)
		英語Ⅰ（M） 英語Ⅱ（M）
その他	講師	岩尾 保次 ＜令和7年9月＞ 文学士
		マスコミ論
その他	講師	長野 カ ＜令和7年9月＞ 修士（教育学）
		スポーツと健康
その他	講師	伊藤 秀海 ＜令和8年4月＞ 修士（文学）
		心理学的支援法
その他	講師	Gerald Thomas Shirley ＜令和8年4月＞ Master of Education Curriculum, Instruction and Technology in Education (米国)
		医療英語コミュニケーション
その他	講師	桑野 紀子 ＜令和10年9月＞ 博士（看護学）
		国際看護活動論※
その他	講師	矢野 篤次郎 ＜令和7年4月＞ 医学博士
		病態・治療論※ 生命維持機能の障害と診断治療※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	児玉 健介 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		病態・治療論※
その他	講師	上野 拓也 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	講師	藤本 書生 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	講師	杉 修造 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	清崎 邦洋 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	安倍 伸幸 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	甲斐 宜貴 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	児玉 健介 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		病態・治療論※
その他	講師	上野 拓也 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	講師	財前 博文 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命維持機能の障害と診断治療※
その他	講師	杉 修造 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	蔭山 徹 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	安倍 伸幸 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	甲斐 宜貴 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小野 敬一郎 ＜令和7年4月＞ 歯学士
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	後藤 一也 ＜令和7年4月＞ 医学博士
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	花岡 拓哉 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	杉田 真一 ＜令和7年9月＞ 学士（医学）
		代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	深田 陽子 ＜令和7年9月＞ 博士（医学）
		代謝機能の障害と診断治療※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	小野 敬一郎 ＜令和7年4月＞ 歯学士
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	花岡 拓哉 ＜令和7年4月＞ 学士 （医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	後藤 勝政 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	中村 敬一郎 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	岩尾 慎太郎 ＜令和7年4月＞ 学士（医学）
		運動機能の障害と診断治療※
その他	講師	向井 康二 ＜令和7年9月＞ 学士（医学）
		代謝機能の障害と診断治療※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	鳥越 雅隆 ＜令和7年9月＞ 博士（医学） 代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	菊池 秀年 ＜令和7年9月＞ 学士（医学） 代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	佐藤 竜太 ＜令和7年9月＞ 博士（医学） 生殖機能の障害と診断治療※
その他	講師	穴見 愛 ＜令和7年9月＞ 学士（医学） 生殖機能の障害と診断治療※
その他	講師	竹下 明伸 ＜令和8年4月＞ 専修学校 リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	大野 実 ＜令和8年4月＞ 学士（教養） リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	川野 知歩 ＜令和8年4月＞ 専修学校 リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	岩槻 憲俊 ＜令和8年9月＞ 学士（工学） 放射線療法と人間の反応※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	福原 沙希 ＜令和7年9月＞ 学士（医学） 代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	鳥越 雅隆 ＜令和7年9月＞ 博士（医学） 代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	菊池 秀年 ＜令和7年9月＞ 学士（医学） 代謝機能の障害と診断治療※
その他	講師	佐藤 竜太 ＜令和7年9月＞ 博士（医学） 生殖機能の障害と診断治療※
その他	講師	穴見 愛 ＜令和7年9月＞ 学士（医学） 生殖機能の障害と診断治療※
その他	講師	竹下 明伸 ＜令和8年4月＞ 専修学校 リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	大野 実 ＜令和8年4月＞ 学士（教養） リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	川野 知歩 ＜令和8年4月＞ 専修学校 リハビリテーションと人間の反応※
その他	講師	岩槻 憲俊 ＜令和8年9月＞ 学士（工学） 放射線療法と人間の反応※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木本 理美 ＜令和8年9月＞ 専修学校
		放射線療法と人間の反応※
その他	講師	宮崎 良尚 ＜令和8年9月＞ 専修学校
		災害看護※
その他	講師	大矢 健介 (47) ＜令和8年9月＞ 修士（看護学）
		災害看護※ クリティカルケア※
その他	講師	大石 一成 ＜令和10年9月＞ 博士（医学）
		クリティカルケア※
その他	講師	石原 タ子 ＜令和10年9月＞ 修士（看護学）
		クリティカルケア※
その他	講師	藤本 愛理 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※ 臨床薬理学※
その他	講師	平山 愛理 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※
その他	講師	関 瞭 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※
その他	講師	森島 恵理佳 ＜令和8年4月＞ 学士（薬学）
		臨床薬理学※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木本 理美 ＜令和8年9月＞ 専修学校
		放射線療法と人間の反応※
その他	講師	宮崎 良尚 ＜令和8年9月＞ 専修学校
		災害看護※
その他	講師	大矢 健介 (47) ＜令和8年9月＞ 修士（看護学）
		災害看護※ クリティカルケア※
その他	講師	大石 一成 ＜令和10年9月＞ 博士（医学）
		クリティカルケア※
その他	講師	石原 タ子 ＜令和10年9月＞ 修士（看護学）
		クリティカルケア※
その他	講師	藤本 愛理 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※ 臨床薬理学※
その他	講師	平山 愛理 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※
その他	講師	関 瞭 ＜令和7年9月＞ 学士（薬学）
		薬理学※
その他	講師	森島 恵理佳 ＜令和8年4月＞ 学士（薬学）
		臨床薬理学※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	黒川 真佑花 ＜令和8年4月＞ 学士（薬学）
		臨床薬理学※
その他	講師	藤内 修二 ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疫学
その他	講師	高野 政子 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）
		小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習
その他	講師	河野 修 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		看護コミュニケーション論※

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	黒川 真佑花 ＜令和8年4月＞ 学士（薬学）
		臨床薬理学※
その他	講師	藤内 修二 ＜令和8年4月＞ 博士（医学）
		疫学
その他	講師	高野 政子 ＜令和8年4月＞ 博士（保健学）
		小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護シミュレーション演習
その他	講師	河野 修 ＜令和7年4月＞ 修士（看護学）
		看護コミュニケーション論※

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」））を記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」
- ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業」
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

1. 松永智子教授（基（主専））就任辞退。後任採用予定であり、令和7年5月のAC教員審査に申請予定。
2. 田中佳子講師（基（主専））就任辞退により、野上龍太郎講師（基（主専））に変更。令和7年2月AC教員審査済み。
3. 柴田絹代講師の博士課程の学位取得に伴う、学位の変更。
4. 本学文学部飯坂晃治教授（その他）の退職に伴う、職名の変更。
5. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、別府大学文学部小池楠男教授（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
6. 本学食物栄養科学部藤原秀彦教授（その他）の退職に伴う、科目担当の辞退により、「生物学」の担当者を令和7年度本学新規採用教員の狩生徹教授（その他）に変更。
7. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、別府大学食物栄養科学部三重野佳子教授（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
8. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、別府大学食物栄養科学部樋園和仁教授（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
9. 本学文学部西村靖史教授（その他）の職種変更に伴う、科目担当の辞退により、「データエンジニアリング基礎」「AI基礎」「AI・データサイエンス実践」の担当者を別府大学短期大学部後藤善友教授（その他）に変更。
10. 本学教員の新規採用に伴い、「法律学」「法学（日本国憲法）」の担当者を別府大学短期大学部落合弘教授（その他）から、本学文学部田代正彦准教授（その他）に変更。
11. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、別府大学食物栄養科学部中村弘幸准教授（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
12. 本学文学部赤松秀亮講師（その他）が昇任したため、職名の変更。
13. 科目内容の充実を図るため、「グローバルと文化」に本学食物栄養科学部斎藤圭講師を追加。
14. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、別府大学文学部佐々木龍平助教（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
15. その他教員辞退に伴い、「心理学Ⅰ」の科目担当者を疋田愛生講師（その他）から植山徹講師（その他）に変更。
16. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、後藤由紀夫講師（その他）の就任時の満年齢の誤記載による修正。
17. 授業内容のさらなる充実を図るため、「生命維持機能の障害と診断治療」の担当者である上野拓也講師（その他）の授業担当の一部を矢野篤次郎講師（その他）に変更。
18. その他教員辞退に伴い、「生命維持機能の障害と診断治療」の担当者を藤本書生講師（その他）から財前博文講師（その他）に変更。
19. その他教員辞退に伴い、「運動機能の障害と診断治療」の担当者を清崎邦洋講師（その他）から薩山徹講師（その他）に変更。
20. 設置認可申請書類の「教員名簿」において、花岡拓哉講師（その他）の就任時の学位の誤記載による修正。
21. その他教員辞退に伴い、「運動機能の障害と診断治療」の担当者を後藤一也講師（その他）から後藤勝政講師（その他）、中村憲一郎講師（その他）及び岩尾慎太郎講師（その他）に変更。
22. その他教員辞退に伴い、「代謝機能の障害と診断治療」の担当者を袖田真一講師（その他）から向井康二講師（その他）に変更。
23. その他教員辞退に伴い、「代謝機能の障害と診断治療」の担当者を深田陽子講師（その他）から福原沙希講師（その他）に変更。

- (注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。
原則としてAC教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、AC教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、AC教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、AC教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

- (注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要 基幹教員数（α）	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（（α）の4 分の3以上）
12	6	27
名	名	名

- (注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （A'）	助手 (A'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （B'）	助手 (B'')
10	3	6	8	27	27	2	5	3	2	5	15	15	2
(6)	(3)	(1)	(5)	(15)	(15)	(2)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （C'）	助手 (C'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計 （D'）	助手 (D'')
9	3	6	8	26	26	2	9	4	6	8	27	27	2
[△1]	[0]	[0]	[0]	[△1]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」（A'）」欄には「－」を記入してください。
・現在（報告時）の状況には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・現在（報告時）の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、属出で設置された学部等の場合は、現在（報告時）の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・現在（報告時）の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 准教授以下：60 歳	5 名	13 名

- (注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
現在（報告時）の完成年度時の状況(C) = $\frac{26}{27} = 96.29\%$
設置時の計画(A)

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
現在（報告時）の完成年度時の状況(C'') = $\frac{26}{27} = 96.29\%$
設置時の計画(A')

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{5}{15} = 33.33\%$
現在（報告時）の状況(B)

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況(C'') = $\frac{2}{2} = 100\%$
設置時の計画(A'')

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	講師	田 中 佳 子	R6. 9	必修	地域フィールドワーク演習	①	R6. 9. 24付け自己都合により就任辞退（ 7 ）							
				必修	ヘルスアセスメント	①								
				必修	基礎看護方法論Ⅰ	①								
				必修	基礎看護方法論Ⅱ	①								
				必修	基礎看護方法論Ⅲ	①								
				必修	基礎看護学実習Ⅰ	①								
				必修	基礎看護学実習Ⅱ	①								
				必修	看護研究の実践	①								
				必修	災害支援チーム医療論	①								
				必修	看護統合シミュレーション演習	①								
				必修	看護マネジメント実習	①								
				必修	総合看護実習	①								
2	教授	松永 智子	R6. 10	必修	基盤ゼミ導入演習	③	R6. 10. 31付け自己都合により就任辞退（ 6 ）							
				必修	地域フィールドワーク演習	③								
				必修	老年看護学概論	③								
				必修	老年看護援助論	③								
				必修	老年看護シミュレーション演習	③								
				必修	老年看護学実習	③								
				必修	看護研究の実践	③								
				必修	看護マネジメント実習	③								
				必修	総合看護実習	③								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
2	人	必修	21	科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	9	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	21	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	9	科目	

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「（3）- ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、

「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）

・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、

「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)			
2	人	必修	21	科目	必修	12	科目	必修	0	科目	必修	9	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	9	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{27} = 7.4\%$$

(注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

2 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合 計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した基幹教員のうち1名は、同領域を専門とする基幹教員を補充し、科目についても全科目を担当するため、交代による影響はない。学生へは、時間割やシラバス等で周知を図っている。
 もう1名の基幹教員については、現在、令和8年4月に後任を採用予定であり、令和7年5月のAC教員審査に申請予定である。現時点で開講されている科目については、他の基幹教員数名が共同で担当しているため影響はない。学生へはオリエンテーション等で適宜説明するなど、混乱が生じないようにする。

- (注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	1. 二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の居育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【認可】 遵守事項 本学部は教育課程を着実に実施するため、教養科目については、週2日（木・金）本部である石垣キャンパスで、専門科目については、週3日（月・火・水）亀川キャンパスで実施し、1日の中でキャンパス間の移動がないようしている。 本学部の基幹教員については、研究室を亀川キャンパスに配置しているが、担当科目は全て亀川キャンパスで実施しているため、授業でのキャンパス間の移動は発生していない。ただし、大学全体で実施している各種委員会においては、委員会毎に月1回程度のキャンパス間の移動が発生するが、両キャンパス間は車で10分程度、電車で1駅であるため、影響は限定的であり、可能な限りWeb会議で参加できるようにするなど教員負担の軽減に努めている。 学生の課外活動では、専門科目が実施されている曜日については、授業終了後、亀川キャンパスからバスを運行し学生が参加しやすい環境を整えている。（7）	引き続き、教育課程の着実な実施をしていくとともに、課外活動のバスの運行については、次年度以降は、全ての曜日（平日）で運行するなど、参加しやすい環境を整えるとともに、亀川キャンパス独自のサークルを立ち上げなど学生への課外活動への積極的な参加を促していく。（7）
認 可 時 (令和6年)	2. 教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーにを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 本学部は構想の段階から、アドミッション・ポリシーの記載された学部のパンフレットを作成し、高校生、保護者並びに高等学校に配布するなど、周知を図ってきた。 また、学部独自のオープンキャンパスの実施や、認可後、高校生及び保護者向けの説明会（大分県、宮崎県、福岡県）、高等学校向けの説明会（大分県内高校対象）を実施するなど学生確保に努めた結果、収容定員80名に対し、入学者83名となり計画通りの学生を確保することができた。（7）	第1期生が入学し、学生自ら学部の広報活動をしたいとの要望もあるため、学生の立場から高校生に向けた広報を積極的に実施していくことを検討している。 また、引き続き、高校訪問や高等学校向けの説明会やオープンキャンパス等を実施し、高校生に向けた周知を図りながら、適切な学生確保に努めていく。（7）

認 可 時 (令和6年)	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項	本学における定年は教授の職にある者は65歳、その他の教員は60歳となっているが、本学部の設置にあたり、「学校法人別府大学職員の定年の特例に関する規程」により、完成年度末日の年齢を定年として定めたため、教育組織の継続性に支障は生じない。 また、本学部の教育研究を発展的に継承できる中堅・若手教員を育成するため、本学部教育に関わる専任の助手や現役の看護師、NPやCNSなどの外部関係者の方々に対し、本学部教育への関心がさらに高まるように、教授学習方略についての最新の知識を基幹教員とともに学ぶ研修会を、令和7年は5月と後期の2回実施する予定としている。 学部独自のいくつかの委員会では、組織をけん引する力を向上させるために、若手を委員長に任命している。(7)	履行中	引き続き研修会を実施するとともに、研究経験が豊かな教員との共同研究の推進、学会発表や学部紀要への論文掲載をサポートするなど、後任となる若手教員候補者の確保に努める。 また、3年目からは基幹教員の新規採用に関する検討を行うとともに、内部昇任のため各領域ごとに教育力向上のための支援を継続的に行っていく。(7)
認 可 時 (令和6年)	4. 文学部人間関係学科の収容定員超過の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	文学部人間関係学科の収容定員の超過については、入学者数について、令和5年度91名、令和6年度80名、令和7年度78名と是正に努めている。また、学生収容数についても入学者数を定員に近づけることにより、令和5年度341名、令和6年度337名、令和7年度331名、収容定員充足率は、令和5年度1.21、令和6年度1.20、令和7年度1.18と逡減している。 修業年限超過者を控除すると令和5年度329名、令和6年度330名、令和7年度328名、定員収容充足率は、令和5年度1.17、令和6年度1.17、令和7年度1.17と変化は見られないが、修業年限超過者の増減があるため今後も入学者数を是正することで逡減が図れると思われる。(7)	履行中	引き続き、入学者数を定員に近づけることにより、収容定員超過の是正に努めていく。(7)

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・別府大学FD委員会
- ・別府大学看護学部FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

別府大学FD委員会：原則月1回開催。委員長及び各学科のFD委員が構成員となっており、看護学部からは看護学部FD委員会の委員長が構成員となって参加している。

別府大学看護学部FD委員会：全学FD開催後、原則月1回開催。委員長及び各看護領域の教員5～6名が構成員。

c 委員会の審議事項等

別府大学FD委員会

- ①授業内容・授業方法等の自己点検と改善に関すること。
- ②カリキュラム、シラバスの改善に関すること。
- ③ティーチング・ポートフォリオによる好事例に基づく教育改善に関すること。
- ④授業の公開、学生による評価に関すること。
- ⑥試験の実施と成績評価の改善に関すること。
- ⑦FD活動に関わる公開に関すること。
- ⑧大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質の向上に関すること。
- ⑨その他FD・SDの推進に関すること。

看護学部FD委員会

上記の別府大学FD委員会の審議内容に次の事項を加えている。

- ⑩看護学部の研修会の企画・運営・評価に関すること。
- ⑪大学全体のFD・SDとの整合性を図るため、大学FD委員会と連絡調整を行う。

② 実施状況

a 実施内容

- ・別府大学FD委員会主催
 - ①FD・SD研修会
 - ②授業評価アンケート
- ・看護学部FD委員会主催
 - ①FD・SD研修会

・大学主催

- ①新採用教職員研修会
- ②学生FD

b 実施方法

・別府大学FD委員会主催

- ①FD・SD研修会：大学の全教職員を対象に、毎年8回～10回のFD・SD研修会を実施している。当日出席できなかった場合の動画配信並びにオンライン聴講の体制を整備。
- ②授業評価アンケート：前期及び後期の2回、オンラインで学生アンケート調査を実施し、教員から授業改善プランの提出を受け、改善の確認やアドバイス及び報告を行う。

・大学主催

- ①新採用教職員研修会：新採用の教職員に対し実施。
- ②学生FD：例年9月に各学科の学生代表者2名に参加してもらい、学長、学部長、学長補佐、学科長が直接学生の意見を聞くこととしている。令和7年度は看護学部学生にも出席してもらい実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・別府大学FD委員会主催

- ①FD・SD研修会（令和6年度：計10回）（令和6年度大学教員：84名）
 - 1）5月22日 研究倫理・コンプライアンス教育について（参加教員：教員82名）
 - 2）6月19日 人権・部落差別教育について『大分県の水平社運動』（参加教員：教員73名）
 - 3）7月17日 不登校学生の現状・支援について（参加教員：教員78名）
 - 4）8月7日 令和5年度学長裁量経費成果発表会（参加教員：教員69名）
 - 5）9月18日 18歳人口漸減期を控えた学生募集について（参加教員：教員79名）
 - 6）10月2日 アセスメント検証と改善策（参加教員：教員71名）
 - 7）11月20日 学生のキャリア教育の現状・方法について（参加教員：教員74名）
 - 8）1月22日 大学におけるサイバーセキュリティ対策について（参加教員：72名）
 - 9）2月19日 別府大学におけるSDGsについて（参加教員：72名）全ての研修会において、動画配信の体制を整えることにより、全教員が参加。
- ②授業評価アンケート
令和6年度は前期：7月 後期：1月に全科目において実施。受講態度、授業内容、自由記述等の計5項目12問について、オンラインで回答。

・看護学部FD委員会主催

- ①FD・SD研修会
令和7年5月9日 テーマ：自ら学ぶ力はいかにして育つのか—その教育・開発に関する研究的アプローチ—
講師：本学部学部長 村中陽子
今後の計画は、現在検討中であるが、年間6回の研修会を予定している。

・大学主催

- ①新採用教職員研修会
令和6年6月26日 人権教育、本学教育課程概要、ハラスメント教育等についての研修会を実施。
参加教職員：大学教員9名全員参加、職員6名中5名
- ②学生FD
令和6年9月26日に実施。大学の各学科の代表者2名に出席してもらい、授業改善などについての意見を学長、学部長、学長補佐、学科長が直接聴取した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・これまで以上にプレゼンテーションを積極的に行う機会を増やすことを検討する。
- ・学科内の成績評価の平準化の改善を更に進める。
- ・知識の定着・復習の為に継続的に確認できる講義資料をmoodle等に公開する。
- ・教室のスクリーンが見辛いため、モニターの増設を検討する。
- ・「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の応用基礎レベルに該当する複数の授業でより実践的なプログラム開発などによる課題解決などへの適用を経験できるようにしていく。
- ・授業評価アンケートに「学生からのこの授業に対する要望等」の欄を加える。 等

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

令和6年度は前期、後期（7月、1月）授業の最終週並びに最終週の1週前に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

大学HP「情報公開」「各種アンケート結果等」において、令和7年6月頃に掲載。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

別府大学FD委員会規程

（設置）

第1条 別府大学にFD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）

第2条 委員会は、次に掲げる大学のFD・SD活動に関する事項について企画、審議し、必要な措置を講ずる。

- 一 授業内容・授業方法等の自己点検と改善に関すること。
- 二 カリキュラム、シラバスの改善に関すること。
- 三 ティーチング・ポートフォリオによる好事例に基づく教育改善に関すること。
- 四 授業の公開、学生による評価に関すること。
- 五 試験の実施と成績評価の改善に関すること。
- 六 FD活動に係わる公開に関すること。
- 七 大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質の向上に関すること。
- 八 その他FD・SDの推進に関すること。

（組織）

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学長が指名する教員1名
- 二 各学科から選出された者 各1名

（委員長）

第4条 委員会に委員長を置き、学長が指名する教員をもって充てる。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長は、委員の中から副委員長を指名することができる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在のときはその職務を代理する。

（事務）

第5条 委員会の事務は、企画担当の事務部署が処理する。

（その他）

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会に必要な事項は、委員会が定める。

附 則

- この規程は、平成19年4月1日から施行する。
この規程は、平成21年4月1日から施行する。
この規程は、平成23年4月1日から施行する。
この規程は、平成26年4月1日から施行する。
この規程は、令和元年11月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
この規程は、令和3年10月6日から施行する。
この規程は、令和4年8月3日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

別府大学看護学部FD委員会規程

(設置)

第1条 別府大学に看護学部FD委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる看護学部のFD・SD活動に関する事項について企画、審議し、必要な措置を講ずる。

- 一 授業内容・授業方法等の自己点検と改善に関する事。
- 二 カリキュラム、シラバスの改善に関する事。
- 三 ティーチング・ポートフォリオによる好事例に基づく教育改善に関する事。
- 四 授業の公開、学生による評価に関する事。
- 五 試験の実施と成績評価の改善に関する事。
- 六 FD活動に係わる公開に関する事。
- 七 大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その教職員に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質の向上に関する事。
- 八 看護学部の研修会の企画・運営・評価に関する事。
- 九 その他FD・SDの推進に関する事。

2 委員会は、大学全体のFD・SDとの整合性を図るため、大学FD委員会と連絡調整を行う。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 原則として、各領域から選出された教員 5～6名
 - 二 事務職員 1名
- 2 前項第1号の任務は2年とし、その交代の時期は4月1日とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。
- 4 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に加えることができる。

(会議)

第4条 委員会に委員長を置き、学部長が指名する教員をもって充てる。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長は、委員の中から副委員長を指名することができる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が不在のときはその職務を代理する。
- 5 委員会は、原則として毎月1回開催し、委員の2/3以上の出席をもって成立とする。
- 6 議事は出席者の過半数をもって決定するものとする。

(事務)

第5条 委員会の事務は、看護学部事務室が処理する。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会に必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別府大学看護学部設置については、大分県内での看護師養成不足の解消に関し、地元自治体・教育界・医療界等からの強い要請もあり、設置認可後には、新聞等のマスコミにも関係団体からの支援も受け、PR活動を行ってきた。このようなこともあって、令和6年度に実施したオープンキャンパスでは、高校3年生だけでも延べ181人の参加があり、入学試験では延べ184名の志願者があった。本年4月の入学者は83名と入学定員80名を上回ることができ、この部分においては、最初の目的を達成することができたと判断している。

また、本年4月には、実習施設合同運営委員会を開催し、39施設79名の参加を得て、実習に関する説明や具体の打ち合わせを行い、各施設からは、本学部での教育への期待と卒業後の就職に関する要望が多く聞かれた。

更に、6月には、高校の校長、進路指導担当教諭への大学説明会を実施予定であるが、その案内においても学校からの強い期待が伺われている。

新入生は、月曜日から水曜日は、亀川キャンパスに新設した校舎で、木曜日と金曜日は石垣キャンパス（既設）で他の学部の学生と共に講義等を受講し、他学部学生との交流も行われている。

このようなことから初期の目的は、十分達成できており、今後とも更に充実するよう努力していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年10月1日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和7年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和8年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

・令和11年に評価機関（日本看護学教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。